

子どもたちに 体験の機会を！

 11.29
sun

生涯学習センターでアンビフェスタが開催され、参加した小学生60人が、石けん作りや手話、室内でできる運動などを体験しました。今回のイベント開催には、多くの人の努力がありました。

5月、市内のアンビシャス運動参加団体や地域ボランティアが「新型コロナの影響で減っている体験の機会を子どもたちに提供したい」との思いで、イベント開催を決定。以降、イベント内容や感染症対策など、何度も話し合いを重ね、例年とは開催方法を一新しました。当日の子どもたちの笑顔に、スタッフは「開催してよかった」と満開の笑顔を見せました。



文化財を観光に！ 観光功労者表彰を受賞

 11.27
fri

小郡市と大刀洗町の地域文化・観光を発信している「地域文化観光実行委員会」が、福岡県観光功労者表彰を受賞し、その報告会が行われました。

委員会は平成27年の発足後、調査した文化遺産を巡る観光散策マップの製作や、文化遺産の解説を聞きながら巡るウォーキングイベントなどを手掛けてきました。毎年開催しているウォーキングイベントは、リピーターもいるほど人気で、委員会の磯部会長は「多くの参加者が楽しく学んでおり、いい感触を持っている。さらに市と町をPRしていきたい」と話しました。



地域で取り組む 見守りバッジ完成

 12.5
sat

小郡校区では、「地域の子どもたちをみんなで見守ろう」という合言葉のもと、地域の組織や大人が連携して、登下校の見守りやボランティア活動に取り組む「まなざしネットワーク」を構築しています。

今回作成したバッジは、見守る側の大人が身に着けるもの。活動中はもちろん、買い物などへ出掛ける際にも身に着けることで、地域が一体となって子どもたちの安心できる環境をつくるものです。

バッジは、小郡小学校・中学校の子どもたちがデザインし、応募総数189点の中から4点が選ばれました。取組に協力してくれる地域の皆さんに順次配る予定です。



思い出づくりは 自分たちの手で

 11.29
sun

のぞみが丘小学校6年生の思い出づくりのために、保護者5人で結成した市民提案型協働事業採択団体「のぞみ小20th未来 Project Team」が、「心に残るイベントづくり」をプロデュースしました。

実際にイベントの企画・運営を手掛けたのは、子どもたち。集まった6年生11人が、同級生の喜ぶ姿を想像しながら、開催まで知恵を絞ってきました。

当日、運動会で踊った思い出のダンスや、先生の着せ替えなどのアトラクションに大満足の参加者たち。企画した子どもたちも「何も分からないところから始まったけど、みんなが楽しんでくれてよかった」と充実感に満ちていました。

